熊本大学教育学部紀要，人文科学
第42号，41－49，1993

スペイン歌曲の唱法

田　中　千　義

A Singing Method for Spanish Song

Chiyoshi TANAKA

(Received May 24, 1993)

はじめに

スペイン古来の，無垢なスペイン人の心を歌った曲を求めて，コルドバのビリャンシーコである「ああ　何んと云う世の中」を選んだ．ビリャンシーコ（VILLANCICO）は，もともとカスティーリャ（CASTILLA）地方で15・16世紀に盛んだったリフレインを伴った短い民衆叙情詩の歌である．この曲は，アンダルシア（ANDALUCIA）地方のコルドバ（CORDOBA）のビリャンシーコで，短い曲でありながら，慈悲に満ちた親子の会話，そして母親の激しくゆれる感情，それに伴うtempo，旋律の変化でこれを歌う者にも，聴く者にも慈悲の心を訴えるスペイン人の魂の歌とも云うべき優れた作品である．オランダ出身の名歌手ELLY AMELINGは，この曲を愛唱歌の一つに入れている．女声合唱に編曲された楽譜を用い，多くの人に知ってもらいたくて，この曲を取り上げた．

楽　譜


¡Ay! que en esta tierra
無 情 の 世
アンダルシーア民謡
柳瀬睦男 訳詞
L. Urteaga 編曲
Andantino
mf
Ma - dre en la puer - ta hay un Ni - ño más
お か あ さ ま き れい な こ う
be - llo que flor de li - rio cu - bier - to de blan - co
ち の か ど に き て さ び そ う に こ ど
de li - rio
に き て
li - no Ma - dre el Ni - ño tie - ne fri - o.
え て お かあ さ ま か わい そう よ
tie - ne fri -
か わい そ う
Allegretto
molto rit.
Que ven - ga la lum-brey se ca - len - ta - ra ¡Ay! que en es - ta tie-rra ya no hay ca - ri -
さ あ こ の ひ の そ ば に き て あ あ な さ け し ら ぬ こ の
a la lum-brey
よ こ の ひ の
dim.
a tempo
quasi andante
rall.
D. C.
dad, ya no hay ca - ri - dad ¡Ay! ya no hay ca - ri - dad.
よ ひ じょ う の よ あ ひ じょ う の よ
a tempo
D. C.
¡Ay! ca - ri - dad.
あ ひ じょ う の よ

歌　詞

VILLANCICO DE CORDOBA

¡ AY ! GUE EN ESTA TIERRA.

MADRE EN LA PUERTA HAY UN NIÑO
MÁS BELLO QUE FLOR DE LIRIO CUBIERTO DE BLANCO LINO.
MADRE EL NIÑO TIENE FRIO.
QUE VENGA A LA LUMBRE Y SE CALENTARA.
¡ AY ! QUE EN ESTA TIERRA YA NO HAY CARIDAD.

訳

MADRE は母で，この文では母親に子供が，お母さんと呼びかけている．

EN はラテン語 IN からの派生で，の中にの意味で，ここでは門の中にとなるが，日本語では門のところにとなる．

LA PUERTA の LA は女性単数形の定冠詞で，PUERTA は女性名詞で門，または日本でいう戸口，玄関である．

HAY は，助動詞 HABER の三人称単数形直接法現在形で，ここでは彼がいる，または彼が存在するとなる．

UN NIÑO の UN は不定冠詞でひとりの，NIÑO は男の幼児である．

MÁS は形容詞でより多くの意味だが，次の BELLO が美しいなので，より美しいとなる．

QUE は接続詞で以下の事が，ということであるという意味である．

FLOR は花で，DE は〜の，LIRIO は白ユリ（アヤメ，アイリスを指す場合もある．）で FLOR DE LIRIO は，白ユリの花となる．

CUBIERTO は CUBRIR の過去分詞で覆われたという形容詞である．

DE は〜に〜での意．

BLANCO は白または白い．

LINO は麻糸の織物リンネルで，白いリンネルで身体をくるんでいるとなる．

MADRE は再び母親への訴えである．

EL は定冠詞で男性単数形である．

TIENE は TENER 持つの三人称単数形で，一人称から TENGO，二人称 TIENES，三人称 TIENE と変化するもので，彼は 5 歳ですと年齢をいう時にも使われ，EL NIÑO TIENE CINCO AÑOS. となる．また〜CALOR 暑い 〜FRIO 寒いの成句にも使われる．この文では TIENE FRIO は寒がっているとなる．

VENGA は VENIR 来るの丁寧な依頼を表わす命令形で，三人称単数形で来なさい，いらっしゃいとなる．愛の手を差しのべる言葉は，いらっしゃいであろう．

LA は定冠詞で女性単数形で LUMBRE 火が女性形のためである

Y は〜と，またはかつ，そしての接続詞である．

SE は代名詞で彼自身を示す.

CALENTARA は未来形で三人称単数形で暖める意.

¡ AY ! は苦痛・驚き・悲嘆を表わす間投詞ああである.

ESTÁ は ESTAR ある，いるの現在三人称単数形で一人称 ESTOY，二人称 ESTÁS，三人称 ESTÁ と変化するものである.

TIERRA は地球・世界・世の中・地上の意である.

YA はすでに・今では・今や・とっくにの副詞である.

NO HAY はひとつの～も～ないの意である.

CARIDAD は慈善の行為，チャリティ，施しである.

訳　　詞

お母さん，門のところに小さな男の子がいますよ．ユリの花よりももっときれいな子が，白い麻布をまとっています.

お母さん，あの子は寒がっています.

(以上が子供のセリフで，以下は母親のセリフである.)

さあ火のそばにいらっしゃい．そして身体を暖めなさい.

ああ！この世にはもはや慈悲の心は失われてしまったのか.

ああ！この世にはもはや慈悲の心は失われてしまったのか.

歌 い 方

母親に告げる子どもの声は *mf* で始まる．MADRE の a の母音は唇を閉じて M を作った後，口をよく開き，日本語の「ア」と同じ要領で発音する．次の D は〔d〕ではなく〔ð〕の発音なので，舌先と上の前歯の内側との間に狭めを作るか，あるいは上下の前歯の間にほんの少し舌先を挟む形にして，そのすきまから声と共に摩擦音を出して発音する．英語の THIS の語頭子音やスペイン語の無声歯間摩擦音〔θ〕よりも舌先が後寄りになる．次の R は舌先を上の前歯の歯茎に触れはじいて発音する．平均的な日本語のラ・リ・ル・レ・ロの子音部分とほとんど同じに発音する．**IPA**（INTERNATIONAL PHONETIC ALPHABET 国際発音記号）ではこの音に〔ɾ〕の音声記号を当てている．小学館発行の西和中辞典にはこれを〔r〕で表わし，ROMA〔r̄óma〕のように振動音（震え音）の〔r̄〕と区別している．次の E の母音は口を中程度に開き，日本語の「エ」と同じ要領で発音する．EN は MADRE の RE と共に一つの音として REN と 8 分音符の中に納まるように歌う．この MADREEN は 3 拍子の弱拍が MA で DREEN が強拍になっている．イタリア歌曲集にある F. DURANTE 作曲の VERGIN TUTTO AMOR にでてくる MADRE は MA が強拍で DRE が弱拍になっていて歌い易いが，このように言葉本来のアクセントと異なる旋律は適宜に考え歌われねばならない．(日本歌曲でも山田耕筰は日本語の持つ本来のアクセントに従い作曲したがそれは標準語を元にしたもので，團伊玖磨の現代になると標準語ばかりが日本語ではなくなり，旋律も多様になり歌唱法も多様になっている.)

この MADRE は更に 4 度上昇して DRE を歌わねばならない．よほど注意深く声を運ばないと DRE

の方がMAより強くなってしまう．〔ð〕は前述のように前歯の間にほんの少し舌先を挟むので〔d〕より少し弱く聴こえるので，このやわらかい発音と共に声を運び，DREが強くならないように歌う．enのnはよく鼻に抜いて響きのよい声を使う．英語のnと同じである．LAのLは舌先を上前歯の歯茎に接し舌の左右の側にすきまを作り，そこから息を抜かして発音する．PUERTAのUは日本語の〔ウ〕と少し異なる．唇を丸くして前に突き出すようにして口の奥から強めに発音する．発音記号は〔pwérta〕でwは母音〔u〕より継続時間が短い半子音であるので直ちに次のéに移行して，éのアクセントを大事にする．次のRまで急いで16分音符の中に納める．次のTは舌先を上の前歯の内側につけ，急に離して息を出し無声歯裏閉鎖音を作る．HAYのHは発音されず，Aを1拍半，Iを半拍と思って歌う．UNは1拍の中の4分の3をU，4分の1をNと思って歌う．NIÑOのNは舌先を上前歯の歯茎につけ，口から外への息の流れを一瞬止める構えで，声を鼻に抜いて発音する．ÑO〔ɲO〕は前舌面が硬口蓋に密着し，口から外への息の流れを一瞬止める構えで，声を鼻に抜いて発音する．日本語のニャ〔nja〕のnjの部分に近い感じの発音である．〔ɲO〕を4拍のばすが，ここまで一息で歌いたい．MÁSのMは英語のMと全く同じに発音する．終りのSは，uが付いたSuにならないように，MÁのÁの母音をよくのばしてから後Sを発音する．Sは前舌面に少しくぼみを作る形で舌先を歯茎に近づけて狭めを作り，すきまから摩擦を伴った息を出して発音する．英語のSHEEPの語頭子音SH〔ʃ〕に近い音になる．BELLO〔BÉʎO〕のʎは，舌先を下前歯の裏側に下ろし，前舌面の中央部を硬口蓋につけ，舌の歯側の部分にすきまを作り，そこから声を抜いて発音する．英語のMILLIONの〔lj〕に近い音にする．イタリア語のBELLO美しいと同じ文字だが発音は全く異なり少し訓練を要する．ʎを作ったら直ちにOに移りこれをのばす．QUEは〔ke〕で〔kue〕とならない．Kは無声軟口蓋閉鎖音で奥舌面を軟口蓋につけ，急に離して息を出しEの母音でのばす．FLORのFは英語のFと同じで次のLに急いで移らねばならない．FとLの間にuの母音が入らないように発音しOの母音でのばす．このFLOを装飾音符のハ音の高さで短く歌いOの母音で変ロ音にすぐ移る．練習の仕方は，まずFLを省いてOのみで声の訓練をする．その次LOで歌い，声がコントロール出来るようになってから，Fを発音と同時にLに移る練習をする．FLに気を取られて声のコントロールがまずくならないよう気をつける．Rは前述の要領であるが，2拍の終りにRの子音だけでuの母音が付かないようにせねばならない．DEのDは英語のDよりも前よりで，舌先を上前歯の内側に付け，声と共に急に離して息を出して作る有声歯裏閉鎖音である．LIRIOのLは前述のLAと同じ要領でRIは〔rj〕でjは英語のYESの語頭のYと同じ要領で発音する半子音で母音の〔i〕よりも前舌面と硬口蓋の間を更に狭くして継続時間も短く次のOの母音でのばす．MÁSからここまで一息で歌いたい．CUBIERTOのkuはQUEのkと同じ要領で母音のuの口型に注意する．次のbjのbは英語のBのように両唇を完全に閉じるのではなくて，少しすきまを作って声と共に摩擦を伴った息を出す有声両唇摩擦音で日本語のバ行音の子音を弱く発音したような音にする．次のÉはアクセントとして重要である．1拍目でÉをはっきり歌い易い．次のTOのTは英語のTより前寄りで前述のDEのDの作り方と同じであるが，声を伴わない無声歯裏閉鎖音である．DEは前述のDE　LIRIOのDEと同様であり，またその意味も〜のという前置詞なので強く歌ってはならない．弱拍に来ているので，軽く歌う．BLANCOのBは〔b〕とはっきり発音し次にすばやくLに移る．BとLの間にuがのんびり入ってはならない．BLAのAの母音で2拍のほとんどの時間を使い，この2拍の終りの16分音符分くらいの時間をɲに使いたい．ɲは奥舌面が軟口蓋に接して口から外への息の流れを一時的に止める構えで，声を鼻に抜く．英語の〜NGと同じ要領で発音する．次のCOは〔ko〕と発音する．LINOのLは英語のLと同じである．LINOのNOは4拍のばす間に *dim* しておく．次の文のために一区切りしたいのである．MADREELはMADRELと歌いEの二つの母音を一つ

と思って歌う．NIÑO は弱拍にきているが，この NIÑO が寒がっている事が重大な事であり，NIÑO をはっきり発音し歌うべきである．TIENE の初めの装飾音符は TI を歌い次の変ロ音で E を歌い次の NE はあまり強くなく歌う．アクセントは TIE の E にある．FRIO は F と R をよく近づけて発音して歌う．またアクセントは I にあるので O がフェルマータ付きの長い音でも O は強くなく歌う．音も FRI から半音上昇して O なので特に注意する．MADREEL からここまで一息で歌いたい．ALLEGRETTO からは母親の驚愕・悲嘆の声である．声質を変え大人の声らしく表現する．TEMPO が速くなるので，発音が不明確にならないように，はっきりとした歌い方で歌う．QUE は前述の通りである．VENGA の V はスペイン語では B で発音するので〔beŋgá〕となる．次の A は VENGA の A で歌ったことになるので改めて発音しなくてよい．LA は前述の通りである．LUMBRE は U の発音に気をつけて突き出した口型を素早く作る．またアクセントでもあるのではっきり LU を歌う．m はよく口を閉じ声を鼻に抜いて次の B に移る．B から RE に素早く発音する．次の Y は BREY と一気に一つの言葉のように続けて歌う．SE の S は前述のように〔sh〕に近い S を発音する．CALENTARA のアクセントは TÁ にあるが LEN から次第に *cresc.* するので終りの RA がよりふくらむように歌う．*cresc.* された声で次の AY を強く歌う．アクセントは A にある．ブレスの後なので A は声を当て易い．声門を閉じておいて勢いよく á と発音する．声は嘆きの色合いで表現されねばならない．4 分の 3 拍子に変わる RA から拍子感に注意する．QUEEN は〔ken〕と歌う．EN を歌い直さないで，一つの言葉のように歌う．ESTA に装飾音符が付いているが，この装飾音符の上音で E を歌い，変下音に下がり変下音の半拍の終りに S の発音をする．上音が E で変下音が S にならないように歌う．TIERRA の I は〔j〕の発音で前述の通りである．アクセントが É にあるので，TI から É に素早く移る．TI が長くならないように注意して歌う．次の RR は〔r〕と同じ構えで，舌先がはじく運動を急速に繰り返す要領で，振動音（震え音）として発音する．ILPA はイタリア語と同じ〔r〕小学館の西和中辞典は〔r̃〕で表わしている．YÁ の Y はスペインでは〔ʃ〕の記号がよく使われている．舌先を下前歯の裏側の位置に下ろし，前舌面を硬口蓋に近づけて狭めを作り，すきまから声と共に息を出して発音する有声口硬蓋摩擦音である．英語の YES の語頭子音に近いが，これよりすきまが狭く，摩擦的騒音を伴って発音する．NO と HAY は一つの言葉と思って半拍の時間に均等に〔no〕と〔ai〕を歌う．CARIDAD の C は〔k〕R は〔r〕D は〔ð〕終りの D は〔ð〕である．この ð は英語の THIS の語頭子音〔θ〕よりも舌先が後ろ寄りに発音する．スペイン語では音節末で無声子音の前，または語末の位置では〔ð〕が弱まることが多く，特に語末ではほとんど無音になる場合もある．西和中辞典では，これをイタリックの〔ð〕で示している．従って〔karíðáð〕となる．2 回目の YA から CARIDAD までを，より *dim.* して DAD の 2 拍目から *a tempo* して，次の嘆きの ¡ AY ! を劇的に歌う．A には上音と変下音の装飾音符が付いている．声をよく訓練して，強くなめらかに歌う．アクセントは A に有り Y は〔i〕と歌う．アメリンクは装飾音符の変下音で Y になるように歌っている．これは感情の高ぶり，嘆きの声をより強く表現しているように感じられる．Y はフェルマータが付いているので，3 拍分位のばして歌の最後の盛り上がりを付けたい．3 回目の YA から CARIDAD は *quasi andante* なのでゆっくり歌い DAD の終り 2 小節は横隔膜をよりよく支えて，長い *rall.* を一息で歌う．この曲ではこのフレーズが一番苦しいので何回も練習し息の保持を確実なものにして歌わねばならない．***D. C*** で 2 回目を歌い最後にまたこのフレーズを歌わねばならない．しかも 1 回目よりやゝ長めに歌うと効果的なので長い息の訓練は不可欠である．この曲は前半を子ども後半を母親と劇的に展開させ，歌い方，声の使い方に注意せねば効果が上がらない．そのために歌詞を一語一語よく理解しておかねばならない．

女声三部合唱の歌い方

女声三部の合唱曲を歌う場合，まずスペイン語の発音の仕方から入らねばならない．歌詞を見てまず思うのは，イタリア語に似ている事である．MADRE は MADRE，LA は LA，UN は UN，BELLO は BELLO，LINO は LINO，EL は EL．このように発音が異なるものもあるが同じ綴りである．この他にも似た単語がある．FLOR は FIORE，QUE は CHE，DE は DI，BLANCO は BIANCO，TIERRA は TERRA，CARIDAD は CARITA である．これらの単語はイタリア歌曲を学ぶ者にとっては親しみ易い言語である．これらの単語を思い出させながら歌詞を訳す．難かしい発音〔ð〕，〔ð̞〕，〔LL〕，〔rr〕，〔ʃ〕，〔ʎ〕，〔ŋ〕，〔ɾ̃〕，〔ɫ〕，〔Ñ̃〕，〔j̃〕，〔β〕を練習する．

歌唱練習は，初めに独唱曲としてソプラノの旋律を斉唱する．21 小節から 23 小節 2 拍目までの *rit.* と 24 小節 2 拍目から終りまでの *quasi. andante* と *rall.* は，このフレーズいっぱい息が続くように練習回数を多くする．

MADREEN LA PUER まではユニゾンなので，特に最初の音から慎重に声を出して，お互いの声をよく聴きながら歌うようにする．簡単なユニゾンと思わないで，よく声が揃うように歌う．また子どもの台詞なのでビブラート，声の揺れがないように歌う．HAY UN NIÑO の＜ ＞を自然にふくらみが付くように練習する．大き過ぎる *cresc.* は曲の流れを不自然にする．初めからここまでで一番大事な言葉は，この NIÑO なので，発音をていねいに歌う．声は少し心配している少し不安な少し不思議な気持ちを持って歌う．MÁS から LIRIO まで全体に＜ ＞を付ける．装飾音符の歌い方を多く練習して，声がよく揃うようにする．また FLOR の R が音符の終り 16 分音符ぐらいの時間に来るように素早い発音練習をする．このフレーズでは FLOR DE LIRIO をよりきれいに明るく歌う．終りの RIO は O をのばして歌う．CUBIERTO の BIER は E を長く歌う．R はなるべくこの 8 分音符の終りに発音する．DE から *cresc.* が付いているので，DE だけのふくらみを付ける練習をして，出来るようになったら，続けて次の BLANCO を歌う．BLANCO のみ強く歌わないように気を付ける．BLAN の N は BLA を 1 拍と 4 分の 3 歌った後の 4 分の 1 の時間に歌うようにする．N で長く歌わないようにする．LINO の NO は一音上昇しているが，*dim.* を自然に付けるように歌う．一音上昇するので *cresc.* にならないように注意する．次の MADRE も曲の初めの MADRE と同じように音が上昇しながらの DRE なので，DRE が強過ぎないように歌う．EL は L の発音が音符の終り 32 分音符位に来るように歌う．TIENE の TI は短く，素早く上に移るように歌う．FRIO は O が一音上昇するので O の方が強くならないように *dim.* をほどよく付ける．このフェルマータは息を長く保つ発声練習を必要とする．ALLEGRETTO から *molto rit.* までは発音がよく揃うように，旋律を歌わないでリズム読みの練習をする．LUMBREY の BREY と ESTA の装飾音符のタイミングには特に注意する．23 小節の装飾音符は A で歌い 24 小節のフェルマータの二音を Y で歌う．フェルマータの後のブレスは，特に充分息を吸わせる．以上斉唱で歌う練習を積んでから，メゾ・ソプラノのパートの練習に移る．2 小節目のシャープが甘くならないように，確実に半音を取って歌う．UN が半拍ずつに分かれているが前の半拍は U，後の半拍は更に UN を歌うつもりで歌う．前半が U で後半が N にならないように，なるべく終りの時間に N を歌う．ÑO のシャープをよく取ってから次の二音に上がるよう注意する．LIRIO と FRIO は同じ音を持続する時，ソプラノの半音上昇する声に引きずられて，上昇または音程が不安定にならないように注意する．4 分の 3 拍子に入り直ぐ 2 拍目にナチュラルで半音上昇しまた 3 拍目後半で変ロの音にかえるので，この小節は音程練習を充分する．24 小節目の八音がよく下がるように，後でアルトのパートを加えて練習する時，アルトの持続する

ハ音と完全に合うように正しく練習しておく．アルトは発声練習で下のト音をよく出せるように練習しておく．3回この音を出さねばならないが，うち2回は長くのばす音なので，発声練習でよい響きを付け自然な柔かい声が出せるようにしておく．長い音の母音はoとaなので練習し易い．2小節目のPUERTAのTAは，急に16分音符で4度低く取るので，音程が悪くならないように注意する．ÑOの4つの音にはスラーが付いているので，滑かに上昇するが，メゾ・ソプラノの3度上の上昇音にも気を付けて，よくハーモニーするように，その声を聴きながら合わせるように歌う．LIRIOを滑かに歌わないとソプラノとメゾ・ソプラノの静かな持続した声に合わなくなるので，慎重に声を動かす．16小節目のFRIOのFRIの入り方がタイミングよく正確に歌えるように，ソプラノとメゾ・ソプラノのFRIの声をよく聴いてから半拍後に歌う．上の二声部をよく聴きながら歌うよう常に心がけておくと難しい事ではない．ALLEGRETTOの3小節3拍目からの *cresc.* は同じ音なので表現しにくいかもしれないがCALENTARAだけ取り出して歌う練習も効果的である．21小節目の3拍目は急に5度低く歌うので，TIERRAからCARIDADまでを取り出して，またNOHAY　CAだけの音程練習をする．22小節目の3拍目のト音は短い音符であるが，正確に声を素早くコントロール出来るように練習する．23小節目の *a tempo* は，上の二声部より1拍早いので，歌いにくいと思われるが，思い切りよく歌いたい．aの母音で歌い出すので，少し練習を積めば声は揃うと思う．3拍目のロ音はフォルテで歌うので，ナチュラルを正確に取り，自信を持って歌いたい．このAYは，この曲の一番大事なところなので嘆きの気持ちをよく心込めて歌わねばならない．終りの2小節はアルトだけ音がよく動いているので，より滑かに歌えるように多く練習する．3つのパートがそれぞれ自信を持って歌えるようになった段階で，声を合わせる．16分音符で動く音の音程が甘くならないように歌わせる．＜ ＞が各パートの強さが同じであるように注意し，個人的にも差があるので指揮者の方で，バランスを指示する．5小節目のsのタイミングは特別注意する．ホールでの演奏ではsの子音はよく聴こえる．各人一致して発音せねば，それは騒音となってしまう．15小節目のTも同様で，もし乱れてタイミングが合わないと，聴き苦しい騒音になってしまう．17小節目のフェルマータは，声の切り上げを明確に指示して，合唱としての演奏効果をより美しいものに高めたい．ALLEGRETTOからは，母親の気持ちを全員が一致して出さねばならない．TEMPOも全員が一致して作らねばならない．TEMPOの変化も多いので，多く練習する．ESTAのSも乱れれば騒音になるので注意して歌わせる．23小節目の2拍目はアルトに，3拍目は上二声部に明確に歌うタイミングを指示する．終りの2小節は，アルトが歌い易いように指示して歌わせる．この曲は長い息が必要なので，練習は発声練習の段階で準備しておく．横隔膜の支えを重視して歌いたい．スペインの生んだビリャンシーコも本格的に取り組まないと充分に曲想を表わせない．

おわりに

スペインの原名はESPAÑA．四つの言語カスティリャ語，ガリシア語，カタロニア語，バスク語がある．主に使われているのはカスティリャ語でこの曲の生まれたアンダルシア地方はこの言語である．母音は五つであるがu以外は日本語の音価とほとんど同じなので歌いやすい．スペインの歌曲は日本では歌われる機会が少ない．この曲もドイツ・フランスの小品のように高校・大学の教材に取り上げ，オランダの名歌手エリー・アメリンクがレコーディングする程の美しいスペイン人の心の歌を歌いたいものである．

平成5年1月23日　熊本市総合女性会館・カルチャーセンターに於ける熊本大学教育学部音楽科卒業演奏会で同音楽科合唱団が演奏，指揮筆者．

参考文献

アメリンク・ヨーロッパを歌う　東芝レコード　1978
西和中辞典　小学館　1991
スペイン合唱曲　J. I. テホン編　音楽之友社　1958